

8月4日(金) 月山

晴:強風

コースタイム	場所	標高	実標高	備考
7:47	えびすや山荘出発	1010m		
7:56	リフト駅(下)	1075m		ケーブル:560円、入山料:200円
8:12	リフト駅(上)出発	1345m		
8:44	姥ヶ岳	1510m	1670m	
9:31	牛首通過	1530m		花がきれい
10:11	稲荷神社通過	1755m		
10:20~10:40	月山山頂	1800m	1980m	本殿入場料:500円!!
10:50	稲荷神社通過	1755m		
11:20~11:30	牛首	1535m		ガスの晴れ間待ち
11:45	リフト駅分岐	1360m		
11:54~12:05	休憩:昼食	1320m		誰も通らない木道の上
12:43	姥沢小屋通過	1050m		
12:50	えびすや山荘着	1015m		

○朝5時起床。昨夜は久しぶりの畳の上で熟睡した。トイレも一回しか行かなかった。

天気は良いが風が強い。今回の計画に中に、強風は考えていなかった。

・昨日百円払って洗濯した洗濯物をしまいこみ、ゆっくり朝食をいただいて出発準備。8:00の始発リフトに乗り一気に高度を稼ぐ。

・8:12登山開始。まず姥ヶ岳への登りに取り付くが、初っ端から急斜面の雪渓。うっかりアイゼンを置いてきたので張ってあるロープにつかまりながら慎重に登る。姥ヶ岳は快晴だが月山頂上にはガスがかかってきた。

・姥ヶ岳から牛首を通り頂上までのルートはなんと花の多い道だ!!

天下一の花街道と言ってもいいほど。それらの花の写真を撮りながら歩いているので時間がかかる。でも天気は良いし花は多くてきれいだし、言うことなし。

牛首から頂上への登りは岩場になるがそれでも道の両側には多くの花が咲き誇っている。



リフト乗り場



姥ヶ岳登り口



姥ヶ岳雪渓



牛首から月山



月山山頂神社

・頂上はガスの中に入り風が強く寒い。月山神社は拝観料500円ということで、今回もあほらしくてやめた。頂上の岩陰で風をよけて休憩。時折ガスが晴れて真夏の太陽が照りつける。ウサギギク、キンポウゲ、フーロなどなどの花が陽の光を受けて美しく可憐に輝く。



山頂のお花畑を歩く

- ・下りはリフトに乗らず牛首から姥沢小屋へ下る道をとる。牛首でガスが濃くなり下りルートが全然見えない。この道を下る人がいないうえ急勾配の雪渓に出たので、危険を感じて、引き返してリフトルートをとろうかと迷ってウロウロ。突然ガスが晴れてルートが見えた！
何だ 雪渓は短く、ちょっと横切ればあとは立派な木道が延々と続いて見える。隣のでかい雪渓では何人かの若者がスキーに興じている。



右:リフト方面、左:姥沢小屋方面



ガスが晴れて下山ルートが見えた

- ・なんと快適な高原湿原の中に続く木道か。下りもリフトという人が殆どでみんな分岐をリフト方向へ行ってしまう。すれ違う人もなく、両側には花々が咲き乱れ、ここまで来ればガスもすっかり晴れ真夏の太陽がジリジリと照りつける。



途中木道に腰掛けてゆっくり昼食

- ・途中木道に腰掛けてゆっくり昼食をとる。通る人は殆どいないしずかな自然を満喫した。

- ・花を撮りながら姥沢小屋を目指して下る。予定通り13時前にえびすや山荘に到着した。
- ・えびすや山荘のかわいい女将さんに礼を言って13時過ぎに姥沢を出発。
今日の予定地の栗駒山登山口・いわかがみ平まで180km以上の長距離ドライブ。33℃を超える灼熱の街道をひた走り、17:30に予定の温泉「駒の湯」に到着。日帰り入浴は16:00までのようだったが、客が少ないためか入れてくれた(400円)。評判とおりのすばらしい温泉。
- ・こじんまりした浴室に檜の四角い浴槽が一つのみ。洗い場も申し訳程度しかなく石鹸もシャンプーもない。森に囲まれひっそりと湯につかる、情緒あふれた東北の温泉だ。

- ・いわかがみ平へ18:30着。ただっ広い駐車場に車が一台もない。下段の小さな駐車場のトイレの前に車を止め、セブンイレブンの中華丼とインスタントの寒天スープで夕食をとる。
- ・暗くて静かな一人寂しい夜を車内で過ごしたが、夜中に上の広い駐車場が若者？たちのサーキット場と化し、うるさいのと恐ろしいので全く寝られず。2:00ごろ引き上げていったあとに就寝。
- ・明日は栗駒山、5:00起床予定。



寂しい いわかがみ平駐車場